

11月30日と12月1日の2日間をかけて、JICA研修員10カ国12名が“大沢扇状地”及び“由比地区地すべり対策事業”を視察しました。

この研修では、実践的でより効率的・効果的なインフラにおける災害の抑止・軽減そして復旧対策技術の習得し、アクションプランを作成、所属組織に提案する目的で行われており、富士砂防事務所で開催している事業について学んでいただきました。

研修員からは、大沢扇状地の規模の大きさや深礎杭の深さなどに驚きの声が上がりました。

◆日時：平成28年11月30日(水) 13:00~16:30
平成28年12月 1日(木) 10:30~11:30

あまつばめ・大沢扇状地
由比地すべり地区工事現場

◆参加者：バングラデシュ、ブラジル、ハイチ、ケニア、ミャンマー、パプアニューギニア、南スーダン、スリランカ、タジキスタン、タンザニア 10カ国 12名



大沢扇状地 第5上流床固工の視察状況



大沢扇状地 岩樋観測所の視察状況



模型を使った地すべり対策の説明状況



サツ峠展望台での事業説明状況



由比地すべり地区 集水井の視察状況



由比地すべり地区 深礎杭の視察状況